

ショートアニメ・シリーズ「FUTURE KID TAKARA」

第3話「もっと増える異常気象」授業づくりアイデアシート

【第3話のストーリー】

豪雨の夜、サラはタカラたちとすでに世界で起きている異常気象の現状を知ります。線状降水帯や氷が溶けることによる海面上昇などの被害を伝えるとともに、ハザードマップなど防災の大切さも学びます。

【はじめに】

21世紀を生き抜くための資質・能力を育むため、子どもたちが自ら課題を発見し、他者と協働しながら解決していく力を育てられるような学び方が注目されています。本教材は、地球温暖化に対し、子どもたちが興味・関心を持ち、自分ごととして考えることができるよう構成されています。

線状降水帯による豪雨や土砂災害のリスクにより、急な臨時休校や下校時間の前倒しなどのご経験もあるかと思います。また、そういった状況を想定した、災害時の避難経路確認や防災マップづくりなど、日常的な防災教育の充実も求められています。

本教材をご活用いただき、先生方と児童・生徒の“協働的な学び”で未来を一緒に考えながら、関心のあるテーマでは「個別最適な学び」として、各自の探究学習等にも繋げていただくことを願っております。

【この動画と関連がある主な学習内容・学年】

		学年・内容	関連するポイント
小学校	理科	3年：太陽と地面のようす	太陽の光がよく当たる場所で朝と昼の地面の温度を測って比較し、太陽の光が地面を暖めていることを捉えることが可能です。
		4年：雨水の行方と地面の様子	雨水が川へと流れ込むことに触れ、自然災害との関連に気付かせることが可能です。
		5年：天気の変化	天気の変化の仕方を学ぶ上で、長雨や集中豪雨、台風などの気象情報を通して自然災害について学ぶことが可能です。
		5年：流れる水の働きと土地の変化	侵食・運搬・堆積という流れる水の働きについて学ぶと共に、雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があります。
	社会	4年：自然災害から人々を守る活動	過去に発生した地域の自然災害について調べ、災害から人々を守る活動を考えます。
		5年：我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり	過去に発生した地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの自然災害を国土の自然条件と関連付けて取り上げ、国や県などが進めてきた砂防ダムや堤防などの整備、ハザードマップ作成などの対策や事業について調べることが可能です。
		6年：グローバル化する世界と日本の役割	地球温暖化や熱帯雨林の減少、砂漠化、酸性雨など地球規模で発生している課題について学び、その解決に向けた国際的な連携・協力の様子を調べることが可能です。
中学校	理科	第2分野：自然の恵みと火山災害・地震災害	大学などの防災研究機関や、気象庁や地方の気象台などから情報を入手して火山災害や地震災害について学び、災害が起きてしまった時の対策について調べることが可能です。
	社会	地理的分野：地域調査の手法	ハザードマップを活用し、実際に学校周辺の地域を観察や野外調査することで、浸水や土砂崩れ等の危険がある場所や避難場所の位置を確認することが可能です。
		公民的分野：世界平和と人類の福祉の増大	世界中で起きている地球環境の変化について学び、これまで日本が実践してきた公害の防止や環境保全対策の中で、他国でも活用できることはないかを考えます。
その他		「道徳」や「総合的な学習の時間」で使用いただくことも可能です。	

【本教材の授業での使い方の例】

本教材（第3話 約5分）を活用した授業の流れの一例です。

学習内容	別のアプローチ
1. 動画を見る前に 動画を見る前に、ワークシートで、これまでに知っていることを書き出します。	先に動画を見てからまとめて書くことも可能です。
2. 動画を見る 動画を視聴します。	適宜一時停止をしながら確認することも可能です。
3. 動画を見た後に 動画を見た後、再度個人での考える時間、または複数人のグループでの話し合いの時間を設けます。必要に応じて、自身の結論を導くために他の事例などをインターネットなどでの調べ学習なども行ってください。	動画を見終わって、まず素直な感想や、印象に残ったセリフについて語り合うところから始めていただくのもいいと思います。
4. 教室内で共有する 何人か、またはいくつかのグループの代表が、根拠とともに考えをまとめて発表し、教室内で共有します。	教室内で共有した後、あらためて子どもたち一人一人に自分の考えを書いてもらうやり方もあります。

※本教材を単体で使うこともできますし、他の話と組み合わせて総合学習や探究学習に使うことも可能です。（熱中症については、第6話で学びます）

※この流れはあくまで一例です。先生方のご指導される学校の実態にあわせてご活用をお願いいたします。

【ワークシートの3問をより深めた追加の問いかけの例】

これまでの学習内容に応じて以下のような追加の問いを立てることも可能です。

- ★「線状降水帯」について調べてみましょう。どうして温暖化すると強く激しい雨が降るのか、その仕組みを考えてみましょう。
- ★異常気象に備えるため、あなたが暮らしている地域のハザードマップについて調べてみましょう。
- ★海面上昇が起きると、わたしたちの暮らしにどのような影響があるかを考えてみましょう。
（第4話の食料生産や、第5話の生きものの生存とつなげることもできます）

【参考資料】

子どもたち向け			
サイト名	運営	QR	URL
ハザードマップポータルサイト	国土交通省		https://disaportal.gsi.go.jp/
【調べ学習】自分のまちの防災マップを作ろう！	公益財団法人日本財団		https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2024/103526/disaster
防災学習ポータルサイト	国土交通省		https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/
先生向け 環境教育関連サイト			
地球温暖化まなびBOX	全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）		https://www.jccca.org/climate-change-education/manabi-box
環境学習STATION	環境省		https://policies.env.go.jp/policy/eco/
気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）	国立研究開発法人 国立環境研究所		https://adaptation-platform.nies.go.jp/



FUTUREKID ふたふた
TAKARA

#3 「もっと増える異常気象」 ワークシート

年 組 名前

① これまでに知っていたことをまとめてみましょう

最近「異常気象」という言葉をよく聞きます。「地球温暖化」との関係もあると考えられています。異常気象についてこれまでに知っていたことをまとめてみましょう。

② 映像を見て新しく知ったことから考えてみましょう

自分たちの町や近くの地域で起きた異常気象(台風や豪雨や洪水、熱波・山火事など)を調べてみましょう。

③ グループや学級みんなで考えてみましょう

温暖化をくい止め、異常気象から身を守るためにはどんな行動が必要か、友だちと話し合い、考えたことをまとめてみましょう。